

(様式4)

令和4年度 北関東・甲信越ブロック事業報告

1. 活動テーマ

「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開」～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～

2. 目的

効果的な人材育成を行うための知識及び情報を共有することで、保健師活動のさらなる活性化を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	令和4年 6月18日(土)	オンライン(Zoom)	【第1回支部長会議】 出席者9名 ・全国保健師長会理事会報告 ・ブロック事業活動計画について ・ブロック研修会について ・各支部活動についての情報交換
2	令和4年 9月3日(土)	オンライン(Zoom)	【ブロック研修会】 参加者124名 テーマ：人材育成 内容： ①令和4年度全国保健師長会活動報告 全国保健師長会副会長 前田 香 氏 ②講演「次世代を担う保健師の人材育成と管理 期保健師の役割」 講師 自治医科大学看護学部長 春山 早苗 氏 ③座談会「話そう！保健師現任教育のいま・これから」 各支部代表者
3	令和4年 9月3日(土)	オンライン(Zoom)	【第2回支部長会議】 出席者9名 ・次年度のブロック研修会及び保健師活動実践報告事例集作成について ・各支部の活動についての情報交換

4. 結果・課題

【支部長会議】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2～3年度は書面開催であったが、今年度はZoomによるオンライン開催とし、顔を見ながら意見や情報を交換することができた。
- ・例年、保健師活動実践報告事例集を作成し、研修会にて事例報告を行っていたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対応等の状況を踏まえて事例集の作成を見合わせた。第2回支部長会議では、事例の提出も可能ではないか等の意見が出され、令和5年度は、事例集作成を再開することが決定した。

【研修会】

- ・人材育成を主なテーマとしてハイブリッド形式で開催することとしたが、新型コロナウイルス第7波

の到来により、開催直前にリモート形式に変更した。当ブロックではWebによる研修会の開催は初めてであったが、遠方からの受講のしやすさ等のメリットもあるため、今後も状況に応じてWebを活用するなど工夫をしながら開催していけると良い。

- ・全国保健師長会活動報告では、全国保健師長会の歴史や活動内容を知ることができ、参加者のアンケートからは、とても良かったとの意見が多く聞かれた。
- ・講演では、自治体を取り巻く現状、社会情勢の変化や今後を見据えた保健師活動、管理期保健師の役割について理解を深めることができた。
- ・座談会は、各自治体の現任教育の現状や具体的取り組み、課題等について知る機会となったが、限られた時間の中での実施であったため、参加者からは「もっと聞きたかった」等の声があり、もう少し時間をかけて意見交換等ができると良かった。

5. 支部活動の特徴

- ・6県1市の支部で構成されている。
- ・各支部ともに、これまでコロナ禍で中止や変更を余儀なくされていた事業等について、様々な工夫をしながら取組を再開したり実施方法の検討をしている。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○ 理事	金子 敬子	栃木県立衛生福祉大学校保健看護学部保健学科教授
理事	矢治 香理	群馬県高崎市群馬県高崎市長寿社会課課長補佐
茨城県	石川 尚美	茨城県中央保健所地域保健調整監兼保健指導課長
栃木県	菊地 幹	栃木県安足健康福祉センター所長補佐兼健康対策課長
群馬県	船越 正枝	群馬県桐生市保健福祉部地域医療感染症対策室長
新潟県	樋口 広美	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部医薬予防課長
山梨県	分部 照美	山梨県都留市福祉保健部健康子育て課長
長野県	下田 清子	長野県長野保健福祉事務所健康づくり支援課長
新潟市	佐野 美智子	新潟市東区役所健康福祉課課長補佐

責任者○印